

## 平成28年度 西さん成さん達の田作り

### ～第10期大椎っ子田んぼ、第7期あすみっ子田んぼ 田植え編～

地元の方々やボランティアの方々のご協力のもと、大椎小学校は10年目、あすみが丘小学校は7年目の田作りを迎えることができました。今年も1本の苗からどのくらいお米ができるかを実感してもらうために基本的に1本植えをしてもらいました。初めの田んぼに裸足で入り、仕事をした子どもたちの感動をお伝えします。

#### ◎大椎小学校

★自然観察では絶滅危惧種のニホンアカガエルを見つけました。田んぼに生えている草を田んぼの中に入れてふむと田んぼの肥料になるそうです。田植えをしているととても体力がうばわれて作っている人の苦勞がわかりました。それでもお米を作ってくれる人々はみんなのためにお米を作っているんだと思いました。お米が好きになりました。楽しかったです。(H.T)



★苗を植えているとだんだんとコツをつかめたので、楽しかったです。みんなは田植えをしながら、「ぐちょぐちょしていて気持ち悪い」と言っていたけど、私はぐちょぐちょが楽しかったです。自然観察では、メダカをつかまえることができ、うれしかったです。(A.I)

★自然観察ではメダカ探しが楽しかったです。「あっ！メダカ」と思ってザルをいれてもオタマジャクシだったりしましたが、なれてくるとメダカもつかまえることができました。田植えでは、苗を1本づつに分けることがむずかしかったけど、「水の中で分けるとやりやすいよ」とアドバイスをもらってからうまく分けることができました。次の草刈りも楽しみです。(H.M)



★初めての田植えで不安もあったけど、がんばりました。田んぼに入ったとき、水が冷たくて寒かったけど、慣れてきてさいごにはとても楽しく感じられるようになりました。また、たくさんの虫とふれあえてすてきな活動になりました。農家の人たちの大変さがわかりました。(H.U)

★初めての田植えで田んぼの中に入ったときには気持ち悪かったけど、なれてきました。でも深い所にはまった時はビックリしました。苗を植えるときに深い所だとなかなか植えられなくて大変でした。お米を作ることは思っていたより大変で農家の人たちの苦勞がわかりました。(C.N)

★苗を1本1本植えることはとても大変でした。苗の根っこを持って中指で土にあなをあけ、根っこをさしそっと手をはなすと植えられます。最初は機械で植えるのかと思っていたので、手作業の大変さを初めて知りました。手作業だからおいしいお米になるといいなと思いました。(S.K)

★田んぼの中はちょっとくさかったけど、オタマジャクシやいろいろな虫がいたり不思議なことがいっぱい楽しかったです。苗を植えるのもいい経験になりました。これからもていねいにがんばって育てておいしそうなお米を作りたいなと思いました。(M.K)



## ◎あすみが丘小学校

★田んぼに入ってひざの近くまで足が入ってしまったり、色々な虫がいた事にびっくりしました。田んぼの中は水を多く含んでいたし、虫は苗に害を与えるから農薬などをまいているのかなと思ったら、生態系を崩さないためにまいていないことにもびっくりしました。また、田植えだけでなく水の量の調節や草取り、稲刈りの仕事をこなしているなんてすごいなと思いました。(H.W)

★田んぼは「グニョグニョ」していて「やりたくないな」と思ったけど、稲を植えた時に上手く出来て楽しかった。でも、深い所が多くて、人の力だけでやる事は思っているより大変で、16本しか植えてないのに疲れてしまった。だから昔の人も、機械もすごいと思った。(M.K)

★思ったよりも足を泥に持っていかれてコケそうになってしまった。苗を1本ずつに分けるのは難しく、根が「プチッ」となってしまって、心の中で「ゴメン」と何回も言った。田んぼで仕事をしている人は、毎日これだと思うと、とてもすごいと思った。と同時に感謝した。ぼくは、こんな苦勞をしてお米を作っていると思うと、残したらだめだなと思った。(K.K)

★田んぼに入った時、「ぐちゃっ」として滑りそうになりました。田んぼの中の泥は冷たく、「どろ～」としていました。匂いは森の中のような自然の香りがしました。稲の根を取るのに苦勞しました。稲の葉はきれいな黄緑で、笹の葉のようでした。お米を作るという事は、たくさんの時間や手間がかかり、思った以上に大変でした。おいしいお米になるように頑張りたいです。

(A.S)

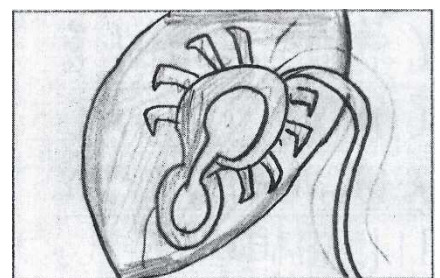
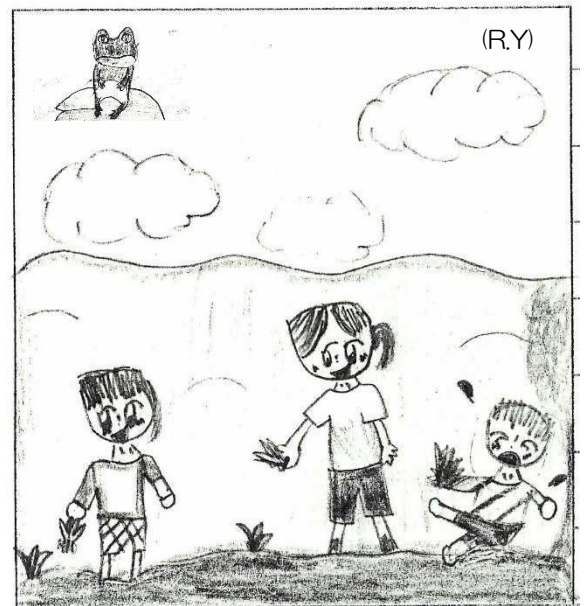
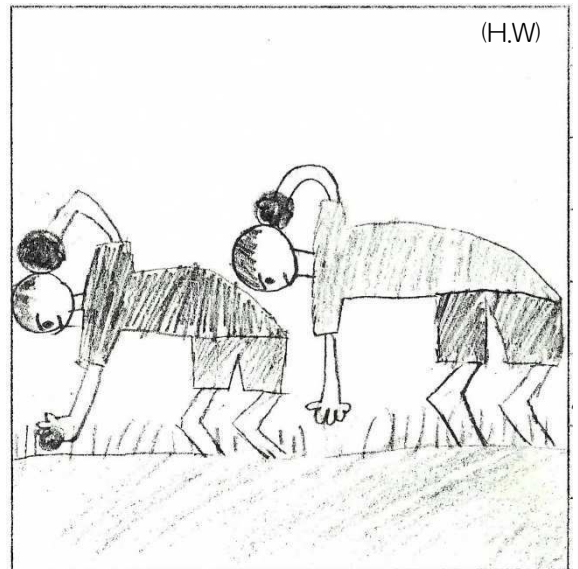
★あすみ田んぼでたくさんの事を学びました。1つ目は、田植えの大変さです。ドロドロした田んぼを一生懸命進んで植えなきゃいけないし、倒れそうになる事もあって大変だと思いました。また、「生き物がいてあたりまです！」という言葉が心に残りました。気持ち悪いからと言っていじめたり、ふんすけたりしてはいけないと聞いて、生き物の大切さを知りました。(R.Y)

★田植えをしている時に足が泥にはまってしまったりして、不思議な感覚でした。いつもお米を育ててくれている人が、どんなに大変な思いをしているかがよく分かりました。また、苗の根が何本もあって、からまっていてびっくりしました。「こんなに根があるんだ。初めて知ったな」と思いました。

前から米になる苗を植えてある田んぼは見た事はあるけど、どのように植えているかが分からなかったのが、実際に出来て良かったです。貴重な体験でした。(M.Y)

★始めはとても臭かったり、寒かったりしていたけど、やっていくうちに慣れて、匂いも気にならなくなりました。お母さんからよく「お米の一つ一つに神様がいるんだよ」と言われます。そう思うと、一つの稲に神様がいっぱいいるんだなと感じました。(N.N)

★田んぼでぐしょぐしょの土の中に入った時は、「うわ、気持ち悪い」と思いました。慣れてきて草ぬき、土ほぐしをしていると、あっという間に足がヒザまで泥っ泥になりました。でも、頑張った印だと考えるとうれしいです。その後の田植えを一生懸命やっていると、転んでしまい、これまで以上に泥だらけになり少し落ち込んだけど、みんなは一生懸命なので私も頑張りました。(M.K)



クモ：大きいものから小さいものまでいて、葉っぱ付近でよく見た。糸が何度かからまった(M.K)



# 里山たんけんレポート

## 第197回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2016年6月5日(日) 小雨

小雨の中のスタートとなりました。山の台地に出てヤブヘビイチゴの実とクサイチゴの実を探しました。クサイチゴがいっぱいあるところですがほとんど実はなくなっていました。おいしいので食べてもらおうと思ったのですが残念でした。何人かの方は口にできたようです。キツネアザミ、背高く伸びたムラサキニガナの花穂(まだ蕾み)を見ました。足下の草むらからはウンモンクチバやノメイガの仲間などがたくさん飛び出しました。谷津へ出たところのU字溝には何の幼虫でしょうか2cmくらいの緑色をした青虫がたくさん水のなかに落ちています。落ちていたと思ったのですが水中で暮らしているようです。水の中で緑色というのは目立つし、食べてくださいといわんばかりで不思議です。また、何十匹も、いや何百匹ものカタツムリの赤ちゃんがU字溝の壁についていました。殻のための石灰を吸収するためといわれていますが赤ちゃんがこれほど集まるのも不思議な驚きでした。

谷津を横切り向かいの山林に入りました。林縁のクワにはカイコの原因種と言われるクワゴが、イノコズチの葉にはイノコズチカメノコハムシがいました。赤い実と黄色い実のニフトコが見られたりしました。シュレーゲルアオガエルのまだしっぽをつけた子ガエルが草の葉にちょこんと乗っているのにたくさん出会いました。雨模様でしたからカタツムリの仲間は元気でミスジマイマイ、ヒダリマキマイマイ、コハクオナジマイマイ、ヤマタニシなどがいました。ヤマタニシの殻口には蓋があります。山林内ではアズマヒキガエルにも出会いました。触角の立派なヒゲコメツキや大きなハサミ状の尾節を持ったハサミツノカメムシなどちょっと珍しいものにも出会いました。

山林内を中心に巡りましたがたくさんのお会いがあった観察会でした。

(参加者 大人 10名、高校生 4名、小学生 5名; 報告: 網代春男)

## 第192回 下大和田 YPP「田の草取り」

2016年6月11日(土) 晴れ

今日は田の中の草取りですが田んぼの中にはレットリストの載っている保護を要するとされている草達があります。下大和田のような湿田環境が残されていけば絶えることはありませんので原則田の中の草は取ることにしていますが、まずは田を巡りそれらの草を観察しました。それから皆で田んぼに入り草を取りました。たくさんの参加者が一生懸命草取りをして田んぼはすっかりきれいになり、育った稲が目立つようになりました。

(参加 大人 27名、小学生 16名、幼児 7名、  
報告 網代春男 写真: 田中正彦)



## 第130回 小山町 YPP「古代米の田植え」

2016年6月11日(土) 晴れ

予定では緑米の田植えを行うことになっていましたが、コシヒカリの田植えが遅れたため、黒米と赤米の田植えになりました。真夏を感じさせる太陽がジリジリと皮膚を焼くのが感じますが、まだ気温や湿度がさほど高くないので作業にはそれほど支障はありません。黒米も赤米も苗がかなり大きく育っており、植えるのは容易で、5人でしたが時間内に余裕で終わることができました。途中の休憩時間にはみんなで田んぼの中をジッと眺めてみましたが、ミズムシやゲンゴロウ、サカマキガイ、カワナなどの生き物が小さな子どもも含めて実にたくさん暮らしていて、命を育む田んぼの役割を改めて感じました。

(参加 大人 5名、報告 高山邦明)



## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 6月4日 ホタルブクロが咲き始める(高山)。
- 6月11日 オオヨシキリが元気にさえずる。田んぼの近くをカワセミが通り過ぎた(高山)。
- 6月18日 田んぼでオオシオカラトンボが飛び始める(高山)。
- 6月25日 今季初めてノシメトンボの姿を見る(高山)。

### 下大和田

- 6月8日 このところ毎日オオヨシキリ、ウグイス、ホトトギス、ホオジロの囀りが聞ける(網代)。
- 6月24日 ムラサキニガナの群落が咲き始めた(網代)。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

## ▼下大和田 YPP 第 193 回「あぜの草刈り・田の草取り」(第 6 回米づくり講座)

梅雨の季節に稲と一緒に一段と成長したあぜや田んぼの中の草取りをします。真夏の生きものもたくさん見られますよ。暑くなるので、飲み物をタップリと持参してきてください。

日時: 2016年7月16日(土)9時45分~14時 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行き)のちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物(暑くなるのでたっぷり)、長靴、帽子、軍手、敷物

参加費: ちば環境情報センター会員および家族 100円、一般 300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

## ▼第 199 回 下大和田 8 月の谷津田観察会とごみ拾い

こども達の大好きなカブトムシやクワガタムシ、トンボやセミなど夏の虫の季節です。一緒に楽しみましょう。

日時: 2016年8月7日(日)9時45分~12時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPP に同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物(暑いのでたっぷり)、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

## ▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時: 2016年7月10日(日)、7月15日(金)いずれも9時45分~15時

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

## ▼第 131 回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

田んぼやあぜに伸びた草を刈ります。暑い季節なので生きもの観察をしながらのんびり作業をしましょう。

日時: 2016年7月23日(土) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

**編集後記** NHKの生きもの番組でイシガメが紹介されていました。千葉の谷津田でも見られ、田んぼでミミズなどを食べて暮らしていると思っていたのですが、水辺から離れて林の桑の実を食べにいたり、畑でトマトを失敬したりと行動圏は広範囲で、産卵も畑や時にビニールハウスの中で行うという驚きの生態でした。イシガメはアライグマによる捕食やライバルのアカミミガメの増加で全国的に生息数が激減しているそうです。人の生活に寄り添ってちょっと微笑ましい暮らしをしているイシガメをぜひ守っていききたいですね。(高山 邦明)